

〈共同研究〉

R. イングルハート (R. Inglehart) の「世界価値観調査 (World Values Survey) データ」の二次的分析のための準備作業 (3)*

— ドイツ・フランス・アメリカ合衆国 —

真鍋 一史**

栗田 真樹***

Sven Holst****

Bruno Vannieuwenhuys*****

I R. Inglehart の「世界価値観調査」と日本の課題

四半世紀におよぶ R. Inglehart の一連の研究の成果については、日本でも『静かなる革命』(三宅一郎、金丸輝男、富沢克訳、1978年)、『カルチャーシフトと政治変動』(村山皓、富沢克、武重雅文訳、1993年)の二つの著書の翻訳出版をはじめ、政治学、社会学、心理学などの諸領域におけるさまざまな紹介論文、あるいは随所での引用といった形での、多様で広範な紹介と議論がなされてきている。

筆者も Inglehart の *Modernization and Postmodernization: Cultural, Economic, and Political Change in 43 Societies*, 1997 の中心的な部分を「近代化とポスト近代化：経済発展と文化変化と政治変動の相互の関係の変化」として訳出した(『関西学院大学社会学部紀要』第77号、1997年)が、その内容はごくおおまかに以下のようにまとめることができるであろう。

世界の国々にて価値観の変容が始まっており、それが各国の政治や経済や社会の再編成を促しつつある。Inglehart はこのような価値観の変容を「世界価値観調査 (World Values Survey)」と名づけた大規模な国際比較調査によって検証してきた。1981年、1990年、1995年と調査はすでに3回実施され、現在は1999年-2000年実査の4回目の調査が進められている。これまで世界の60か国(地域)以上を対象に調査がなされている。これら対象国(地域)は人口では広く世界の75%までを占め、また国民一人当たりの年間所得ではそれが300ドルにとどまる国からその100倍にもおよぶ国までの大きな幅をもち、さらに市場経済と民主主義の長い歴史をもつ国々から旧社会主義国、権威主義国、途上国といった多様な政治・経済の形態の国々を含んでいる。

この継続的な国際比較調査から以下のことが明らか

となった。産業化以前の段階にあって、いまだ欠乏と戦争の危機を経験している国が「物質と安全」に優先順位を置くのに対して、繁栄と平和の脱産業化の段階にある国は「帰属、尊敬そして自己実現」に優先順位を与える。前者は「物質主義的価値観」、後者は「脱物質主義的価値観」と呼ぶことができるが、さまざまな国が「豊かな社会」(J. K. Galbraith), あるいは「脱産業社会」(D. Bell)の段階に到達するにともなって、そのような国における中心的価値観はいずれも「脱物質主義」の方向に向かう。そしてこのような「脱物質主義的価値観」はさらにより広い「ポストモダンの価値観」の一部を構成している。

では「ポストモダンの価値観」への移行(シフト)として、具体的にはどのような内容が考えられるであろうか。それは、たとえば「経済成長から環境保護へ」「経済的問題から文化的問題へ」「異質性への拒絶から異質性への寛容へ」「効率から意味へ」「官僚制組織による管理から個人の自律性にもとづく管理へ」などの諸相である。「ポストモダンの価値観」には「主観的よい状態(ウェル・ビーイングあるいはウェルネス)価値観」も含まれる。

それでは、このような移行(シフト)は、どのようにして起きるのであるだろうか。このことを説明するための一つの説明原理として「効用逓減の法則」という考え方が導入される。つまり豊かさをもたらす社会の発展によって「モダンの価値観・生存価値観・物質主義的価値観」が限界効用点を越えたとき、「ポストモダンの価値観・主観的よい状態価値観・脱物質主義的価値観」が選択されるようになるという考え方である。このような説明原理は、経済成長と平均寿命との関係、経済成長と主観的よい状態価値観(「幸せ感」と「生活満足感」)によって測定される)との関係の場合にも同様に援用できる。それは、社会が豊かになるにつれて、人びとの平均寿命、幸せ感、満足感のレベルは急激に高まっていくが、ある点(具体的にいえば、たと

*キーワード：二次的分析、ドイツ・データ、フランス・データ

**関西学院大学社会学部教授

***吉備国際大学社会学部講師

****愛知県立大学外国語学部ドイツ学科客員講師

*****大阪大学言語文化部外国人教師

えばGNPで\$10,000という点を越えると、両者の関係はいわば「横ばい」のカーブとなってしまふということである。こうして「ポストモダンの価値観」の出現にともなう、政治や経済や社会の諸領域に新しい変化が引き起こされることになる。

以上において、R. Inglehartの研究の概要についてやや詳細に紹介してきた。では、このような世界的な研究の現状に鑑みて、日本における研究の課題として何が考えられるのであろうか、あるいは何を考えなければならぬのであろうか。この点について、ここでぜひとも提案しておきたいのは、このようなテーマをめぐる国際共同研究ということである。筆者らはすでにInglehart教授とここ数年にわたってこのような試みを行っている。その具体的な内容は、「世界価値観調査データ」の(1)共同利用のための準備作業、(2)二次的分析の試み、(3)国際比較調査の方法論的な検討、の三点にまとめられる。まず(1)については、このような作業は多大なエネルギー・時間・資金を要するものであり、とても一人の研究者が単独で取りくめるようなものではない。そこで、ひとまず筆者の所属している関西学院大学を中心に研究チームを構成し、その基礎作業にとりかかった。その成果が、「R. Inglehartの『世界価値観調査データ』の二次的分析のための準備作業(1)(2)」『関西学院大学社会学部紀要』(第75号、第76号)1996年、1997年、であり、さらにアメリカ合衆国、ドイツ、フランスのデータの比較に焦点を合わせた今回の作業である。

つぎに、(2)については、さまざまな可能性が考えられるなかで、Inglehart教授と筆者との問題関心の重なるテーマとして、「Subjective Well-being」という課題を選び、その国際比較の視点に立つ探索的データ解析(exploratory data analysis)を進めてきた。その成果が、真鍋一史、R. Inglehart「Well-beingの構造の国際比較」『関西学院大学社会学部紀要』(第78号)、1997年、である。中野裕樹也「社会的距離における一次元性の研究」『関西学院大学社会学部紀要』(第83号)1999年も、この線上での成果といえる。

さらに、(3)については、栗田真樹による「価値観の測定：R. インゲルハート(R. Inglehart)の価値観尺度の改良」『関西学院大学社会学部紀要』(第78号)、1997年、のような研究成果があげられる。

筆者らは、現在、このような国際共同研究のさらなる広がりの可能性を検討している。

ところで、世論(あるいは質問紙)調査の方式で実施されている大規模な国際比較調査の双壁として、R. Inglehartの主宰する「世界価値観調査」とともに、世界の30か国が参加している「国際社会調査プログラム(International Social Survey Programme=ISSP)をあげることに異論を唱える者はいないであろう。ISSPは、もともとドイツ・マンハイムの「世論調査の方法と分析のための研究センター(ZUMA)」が二年に一回行っている一般社会調査(ALLBUS)と米国シカゴ大学の「全国世論調査研究センター(NORC)」が毎年行っている総合社会調査(GSS)の二つのプロジェクトが中心となり、そこに各国の大学・研究所・調査機関な

どが加わり、1984年に設立された国際比較調査グループである。日本からはNHK(放送文化研究所)が1992年度から正式のメンバーとして加盟しているが、筆者はNHKからの依頼で1997年度から日本代表の一人として総会・質問原案作成委員会・研究発表会に参加することになった。

ここで、世界における研究の現状と、それを踏まえての日本における研究の課題という視座からして重要と考えられるのは、このような国際比較調査グループの形成とその研究交流ということだけでなく、このような国際協力にもとづく各国での実査の後、そのようにして収集されたデータを整理・保管・活用するための手立てがしっかりととられているということである。それは、具体的にいうならば、ISSPの調査データの保管センター(いわゆる「データ・ライブラリー」)を、1986年以来ドイツ・ケルン大学の「実証的社会調査のためのデータ保管センター(ZA)」が務めており、各国は実査後、各年次の調査データをZAに送ることが義務づけられている。ISSPの加盟機関はいつでもZAにインターネットでアクセスして、データを引き出すことができる。さらに加盟機関以外の者も有料でデータを利用できる。「世界価値観調査」と「ISSP調査」が国際比較調査の双壁となっているのと同じように、このドイツ・ケルン大学のZAと米国ミシガン大学のICPSR(Inter-University Consortium for Political and Social Research)は、その歴史が古く、これまで各国のさまざまなデータ・ライブラリーの設立を牽引する役割を担ってきたことという意味において、世界のデータ・ライブラリーの双壁となっているといえる。

このような世論調査のデータ・ライブラリーをめぐる世界の動向に刺激されて、日本においてもようやくデータ・ライブラリー設立の機運が熟してきた。日本におけるデータ・ライブラリー設立の意義については、筆者による小論、「情報の収集・整理・加工・保存・活用——データ・ライブラリー設立の意義——」『情報通信学会誌』43、1994年、を参照されたいが、このような機運は東京大学社会科学研究所、筑波大学社会学系、札幌学院大学社会情報学部、日本世論調査協会などにおいて見ることができる。こうして、この研究領域における今後の日本の課題ということに関して、筆者が何をいわんとしているかはもはや明らかであろう。それは、データ・ライブラリーの展開ということにおける日本の貢献ということにほかならない。

最後に、今回の共同作業が(株)日本リサーチ・センターからの研究助成にもとづいてなされたものであることを付記しておかなければならない。取締役調査研究本部長の飯嶋建治氏には、いつも暖かいご支援をいただいている。改めて心から感謝の意を表したい。

(真鍋一史)

II ドイツ・フランス・アメリカ調査の整理の手順

世界価値観調査データのドイツ・データ、フランス・データを利用可能とするために、今回は以下のような整理の手順をとった。

(1) まず、今回資料として用いられるものは、世界価値観調査コードブック、アメリカ、ドイツ、フランスにおいて使用された調査票、各国の単純集計結果である。

(2) アメリカにおいて用いられた調査票（以後アメリカ調査票と表記する）を基準とする。

(3) アメリカ調査票に付されている質問項目番号、データ解析のための変数名とドイツ、フランス両国で用いられた調査票（アメリカと同様にドイツ調査票、フランス調査票と表記する）の質問項目とを対応させるためにドイツ調査票、フランス調査票にアメリカ調査票の変数名を記入していく。

(4) つぎに「世界価値観調査データ」のデータ解析のサンプルファイルとなっているカナダ調査のラベルを用いて、アメリカ調査票と各国の質問項目番号を対応させた表を作成する。カナダ調査はあくまでラベルとして用いているにすぎない。

(5) 補助的な資料として、各国の単純集計結果を利用する。単純集計によって、実際にどのようなコードがデータ化されているのかが明らかになる。

これにより、ドイツ・フランス・アメリカ三か国間での調査票の対応関係が明らかとなり、調査票の比較が可能となる（表1参照）。

さて、以上の作業の結果、以下の項目に関して、三か国間での違いを記述することとする。

- 1 調査者（被調査者）への指示の相違（Instructions to the interviewer/interviewee）
 - a) 調査者への指示（Instructions to the interviewer）
 - b) 被調査者への指示（Instructions to the interviewee）
- 2 回答のカテゴリーの相違（Differences in rating）
 - a) 程度表現の相違（Degree of acquiescence）
 - b) 同一コードでの意味の相違（Same code, different meaning）
- 3 ワーディングの相違（Differences in wording）
- 4 質問項目の欠落（Questions absent in one or the other questionnaire）
 - a) コードの違い（Differences in coding）
 - b) その国独自の質問項目（Questions absent in one or the other questionnaire (nation-specific items)）
- 5 調査票における形式の相違（Differences in form）
- 6 文法、スペルのミス（Spelling mistakes）

表1においては、世界価値観調査の変数を縦軸にと

り、アメリカ調査（ラベルはカナダ調査に用いられているもの）、ドイツ調査、フランス調査を横軸に並べている。

さらに、上記1から6までの項目をドイツ、フランス各国で列として作成している。さらに、国別に、次項からのIII German、IV France（IVについては次号に掲載）において示される上の項目ごとに、順番に数字を振り、縦軸と横軸から作成されるセル内にその数字を表記している。この数字は、次項からのIII、IVの変数の前に示されている数字と対応している。同一のセル内に、複数の番号がある場合は、複数項目の特記事項があることになる。

III、IVについては、表記言語として「英語」を用いている。これは、アメリカ調査票をもととし、それとドイツ・フランス調査票との相違に着目したためである。

しかしながら、これらの作成された表は完全なものではなく、不明な点も残されている。これは、調査データを利用するための整備が一次的な段階において十分でないということに起因している。本来、このような作業は、調査項目の設定時においてなされるべきであり、その点については調査の設計段階での準備不足も否定できない。なぜなら、データ解析の枠組は、項目設定時にそれと対応して設定されるはずであるからである。この作業を怠った場合には、調査が異なった意味を持って各国で行なわれることになり、その結果としてデータの国際比較が非常に難しいものになってしまうのである。（栗田真樹）

III Germany

“Umfrage 2287 April 1990” conducted by the “Institut für Demoskopie Allensbach”.

The survey in Germany was conducted as a face-to-face interview like the one in the United States. The interviewer read out the questions, sometimes handing out some question-cards or answer-scales to the interviewee. Sometimes there were differences in handling question cards.

The form of the questionnaire is somewhat different from the source questionnaire (source questionnaire 30 pages, german questionnaire 28 pages) .

The question numbers of the german questionnaire run from 1 to 87, demographic informations about the interviewee seperated, the numbers of the source questionnaire from 116 to 744. In both cases the (canadian) code numbers (v-numbers) are the base.

The main nation-specific codes are listed in a special codebook, but there are much more differences, sometimes slight divergences in the questions, the form or the order.

1. INSTRUCTION TO THE INTERVIEWER/IN-

INTERVIEWEE

a) Instructions to the interviewer

1) Instruction at the head of the questionnaire

US: No introduction

G: Read questions literal. Please circle letter or number beside the right answer. When no answer is given, write answers in wording on the punctuate line. All results of this survey serve to investigate the opinion of the population and makes it better known.

2) Instruction to read out

v 12-17 (4 a-f), v 18 (5), v 83 (9), v 84-93 (10 a-k), v 115 (11 a-b), v 133 (25), v 151 (33), v 152-155 (34 a-d), v 156-165 (35 A-J), v 181 (43), v 183-189 (45), v 216 (53), v 241 (60), v 264-270 (73 A-G)

US: Read

G: in this cases this instruction is absent

In the german version all questions, not only the above mentioned ones, are marked with quotation marks.

3) Instruction for marking the answer

v 69-82 (8)

US: circle a response for each

G: Circle all mentioned (Alles Genannte einkreisen!)

v 19-44 (6), v 99-114 (15), v 326-334 (82)

US: Following instruction is absent

G: Circle all mentioned (Alles Genannte einkreisen!)

v 97-98 (14), v 135-141 (27), v 175 (37), v 190-196 (46), v 257 (66), v 258 (67), v 260 (69), v 261 (70), v 262 (71), v 320 (78), v 321 (79), v 340-341 (84), v 351 (86)

US: Following instruction is absent

G: Circle mentioned (Genanntes einkreisen!)

v 4-9 (1), v 12-17 (4)

US: Following instruction is absent

G: Circle respective right in the corresponding column (Jeweils Zutreffendes in der entsprechenden Spalte im Kasten einkreisen!)

v 55-68 (7), v 296-319 (77)

US: Following instruction is absent

G: Interviewer, circle mentioned step for every point (Interviewer, genannte Stufe zu jedem Punkt einkreisen!)

v 95 (12), v 96 (13), v 117 (18), v 176 (38), v 180 (42),

v 248 (63)

US: Following instruction is absent

G: Circle mentioned step (Genannte Stufe einkreisen!)

v 128-131 (23), v 323-325 (81)

US: Following instruction is absent

G: Circle respective mentioned (Jeweils Genanntes einkreisen!)

v 198-210 (48), v 250-256 (65), v 272-284 (75), v 290-295 (76)

US: Following instruction is absent

G: circle respective right (response) (Jeweils Zutreffendes einkreisen!)

v 242-246 (61), v 264-270 (73)

US: Following instruction is absent

G: Interviewer, circle for every point the answer in the corresponding column (Interviewer, für jeden Punkt die Antwort in der entsprechenden Spalte im Kasten einkreisen!)

4) Differences in handling the question cards

v 4-9 (1)

US: Show card A

G: Interviewer hands pink list 1

v 12-17 (4)

US: Show card B

G: Interviewer hands yellow list 2

v 19 (6)

US: Show card C

G: Interviewer hands grey list 3 and let it have the respondent up to Question 6 b

v 55-68 (7)

US: Show card D

G: Interviewer hands blue picturesheet 4

v 69-82 (8)

US: Show card E

G: Interviewer hands orange coloured list 5

v 95 (12)

US: Show card F

G: Interviewer hands green picturesheet 6, and let it to the respondent up to Question 13

v 96 (13)

US: Show card G

G: Again after green picturesheet 6

v 97 (14 a)

- US: Show card H
G: Interviewer hands white list 7
- v 98 (14 b)
US: Following instruction is absent
G: Again after white list 7
- v 99-114 (15)
US: Show card I
G: Interviewer hands pink pack of cards
- v 116 (17)
US: Show card J
G: Interviewer hands again green picturesheet 6
- v 117 (18)
US: Show card K
G: Again after green picturesheet 6
- v 118-124 (19)
US: Show card L
G: Interviewer hands pink list 8
- v 126 (21)
US: Show card M
G: Interviewer hands yellow list 9
- v 127 (22)
US: Show card N
G: Interviewer hands grey list 10
- v 132 (24)
US: Show card O
G: Interviewer hands again green picturecard 6 (scale)
- v 135-141 (27)
US: Following instruction is absent (reading)
G: Interviewer hands orange coloured list 11
- v 142 (28)
US: Show card P
G: Interviewer hands green list 12
- v 147 (31)
US: Show card Q
G: Interviewer hands blue list 13
- v 175 (37)
US: Show card R
G: Interviewer hands white list 14
- v 176 (38)
US: Show card S
G: Interviewer hands again green picturesheet 6
- (scale)
v 180 (42)
US: Show card T
G: Interviewer hands again green picturesheet 6 (scale)
- v 183-189 (45)
US: following instruction is absent
G: Interviewer hands pink list 15
- v 190-196 (46)
US: following instruction is absent
G: Interviewer hands again the pink list 15
- v 198-210 (48)
US: Show card U
G: Interviewer hands yellow list 16
- v 218-223 (55)
US: Show card V
G: Interviewer hands grey list 17
- v 224 (56)
US: Show card W
G: Interviewer hands blue list 18
- v 225 (57)
US: Show card X
G: Interviewer hands orange coloured list 19
- v 226-236 (58)
US: Show card Y
G: Interviewer holds white pack of cards ready Interviewer hands white pack of cards
- v 242-246 (61)
US: Show card AA
G: Interviewer hands green list 20
- v 247 (62)
US: Show card BB
G: Interviewer hands white picturesheet 21
- v 248 (63)
US: Show card CC
G: Interviewer hands pink picturesheet 22
- v 249 (64)
US: Show card DD
G: Interviewer hands yellow list 23
- v 250-256 (65)
US: Show card EE
G: Interviewer hands grey picturesheet 24

v 257 (66)
 US: Show card FF
 G: Interviewer hands blue list 25 and let it to the respondent up to Question 67

v 258 (67)
 US: Show card GG
 G: Again after blue list 25

v 259 (68)
 US: Show card HH
 G: Interviewer hands white list 26 and let it to the respondent up to Question 69

v 260 (69)
 US: Show card II
 G: Again after white list 26

v 261 (70)
 US: Show card JJ
 G: Interviewer hands orangecoloured list 27 and let it the respondent up to Q 71

v 262 (71)
 US: Show card KK
 G: Again after orangecoloured list 27

v 263 (72)
 US: following instruction is absent
 G: Interviewer hands green list 28

v 290-295 (76)
 US: Show card KK
 G: Interviewer hands pink list 29

v 296-319 (77)
 US: Show card MM
 G: Interviewer hands grey picturesheet 31

v 320 (78)
 US: Show card NN
 G: Interviewer hands blue list 32

v 323-325 (81)
 US: Show card OO
 G: Interviewer hands white list 33

v 335-339 (83)
 US: Show card PP
 G: Interviewer hands orangecoloured list 34

v 340 (84 a)
 US: Show card QQ
 G: Interviewer hands green list 35 and let it respondent up to 84 b

v 351 (86)
 US: Write in
 G: Interviewer hands yellow list 37 and let it the respondent up to 87

v 352 (87)
 US: use two-column code to coverall major parties in given society; use "01," "02," for first parties. Write in.
 G: Again after yellow list 37

In Germany they used one chart for many times, if the same one was required. In the source questionnaire they used every time a new one. In Germany they counted the charts by number. To device them easily, they gave everyone one of seven colours. In the source questionnaire they counted the cards by letters.

5) v 19-44 (6), v 69-82 (8), v 99-114 (15)
 US: Just call of the letters, please
 G: this instruction is absent

6) v 97 (14 a)
 US: following instruction is absent
 G: Only one statement

7) v 98 (14 b)
 US: Code under (b) below
 G: this instruction is absent

8) D 16 a, v 357 (4)
 US: following instruction is absent
 G: Informal

9) D 16 a
 US: Ask all working (others skip to Q 270)
 G: [Footnote for one answer] Skip to Q 19

10) v 126 (21)
 US: one response
 G: only one response

11) v 135-141 (27), v 296-319 (77)
 US: Alterate reading items A-G (A-X) then G-A (X-A)
 G: this instruction is absent

12) v 143-145 (29)
 US: Yes Go to Q 333 No Go to Q 334
 G: yes * no ***

13) v 146 (30)
 US: Ask all
 G: this instruction is absent

14) v 175 (37)

US: accept one response

G: this instruction is absent

15) v 181 (43)

US: following instruction is absent

G: only one response

16) v 183-189 (45)

US: Ask everyone except single

G: Attention, single skip to Q 46

17) v 190-196 (46)

US: Ask everyone

G: to all

18) v 224 (56), v 225 (57)

US: Accept only one response

G: Please, only one response

19) v 226-236 (58)

US: following instruction is absent

G: Not more than five response

20) v 249 (64)

US: Code one only

G: Please only one response

21) v 250-256 (65)

US: Hand ballot and pencil to the respondent

G: this instruction is absent

22) v 257 (66)

US: Report one response under (a)

G: Please only one response

23) v 258 (67)

US: following instruction is absent

G: Again only one answer

24) v 259 (68), v 260 (69), v 261 (70), v 262 (71)

US: one answer only

G: Please, only one response

25) v 290-295 (76)

US: Read and record one answer for each

G: this instruction is absent

26) v 320 (78), v 321 (79)

US: following instruction is absent

G: Only one response

27) v 323-325 (81)

US: Read instruction than hand ballot and pencil to respondent

G: this instruction is absent

28) v 326-334 (82)

US: Accept multiple response

G: Circle all mentioned

29) v 354-355 (2)

US: following instruction is absent

G: Write in date of birth exactly

30) v 356 (3)

US: Write in age

G: Don't count apprenticeship

31) Finish

US: Interviewer code by yourself. Skip to page 30 and finish adress. Ask everyone I hereby attest that this is a true and honest interview. Be sure and complete Q.733-745 after leaving interview

G: After finishing the interview interviewer notes [Letter of the institute]

b) Instructions to the interviewee

In the German questionnaire the instructions to the interviewee are an integral part of the questions (within the quotationmarks), so it is difficult to seperate question and instruction. In the source questionnaire they use in few cases different letters (at the whole, the use of different letters or underline is non-uniform) . Because most instructions are also in the source questionnaire a part of the questions, they are often integrated into Part 3.

1) v 4-9 (1)

US: Please say, ...

G: Now, I want to read one ...

2) v 12-17 (4)

US: can you tell me wether

G: and please tell me for each topic

3) v 19-36 (6 a)

US: Just call the letters, please.

G: If you just call of the appropriate points on the list.

4) v 37-54 (6 b)

US: Just call of the letters, please.

G: Please tell it again according the list.

5) v 69-82 (8)

US: Just call the letters, please.

G: This instruction is absent.

6) v 96 (13)
 US: Please use this card to help with the answer
 G: Please tell it according this scale.

7) v 99-114 (15)
 US: Just call of the letters, please.
 G: This instruction is absent.

8) v 128 (23)
 US: Following instruction is absent
 G: Could you tell me for the following items, ...
 9) v 218-223 (55)
 US: Please use the response on this card.
 G: Only call of the numbers of the list.

10) v 272-284 (75)
 US: Please look at this card.
 G: This instruction is absent

11) v 335-339 (83)
 US: Could you tell me ... Please use the response on this card.
 G: Tell me ... The second instruction is absent.

12) v 340 (84 a)
 US: Could you tell me...
 G: Tell me according the list ...

13) v 341 (84 b)
 US: Following instruction is absent (part of v 340)
 G: If you tell me again according the list

14) v 351 (86)
 US: Following instruction is absent
 G: Just call of the corresponding number.

2 DIFFERENCES IN RATING

a) Degree of acquiescence

1) v 4-9 (1), v 11 (3), v 12-17 (4), v 18 (5), v 55-68 (7), v 83 (9), v 95 (12), v 96 (13), v 97-98 (14), v 115 (16), v 116 (17), v 117 (18), v 118-124 (19), v 125 (20), v 126 (21), v 128-131 (23), v 132 (24), v 133 (25), v 135-141 (27), v 142 (28), v 148-151 (32), v 151 (33), v 152-155 (34), v 156-165 (35), v 177 (39), v 178 (40), v 180 (42), v 183-189 (45), v 190-196 (46), v 197 (47), v 213 (50), v 214 (51), v 215 (52), v 216 (53), v 224 (56), v 241 (60), v 247 (62), v 249 (64), v 250-256 (65), v 259 (68), v 260 (69), v 261 (70), v 262 (71), v 263 (72), v 290-295 (76), v 320 (78), v 321 (79), v 322 (80), v 335-339 (83)
 US: don't know
 G: not decided (unentschieden)

2) v 10 (2)
 US: don't know
 G: no answer (keine Antwort)

3) v 12-17 (4), v 218-223 (55)
 US: strongly agree/disagree
 G: agree very much/not at all (stimme sehr zu/ stimme überhaupt nicht zu)

4) v 69-82 (8)
 US: mentioned/not mentioned
 G: circle mentioned

5) v 95 (12), v 116 (17)
 US: none at all/a great deal
 G: no poles

6) v 96 (13), v 117 (18), v 180 (42)
 US: Dissatisfied/satisfied
 G: no poles

7) v 134 (26)
 US: 2 sometimes
 G: 2 now and then

8) v 142 (28)
 US: 3 disagree with both
 G: 3 Not agree with both

9) v 145 (29 c)
 US: 0 never
 G: 0 no, never

10) v 175 (37)
 US: no answer
 G: not decided (unentschieden)

11) v 176 (38)
 US: not at all/very
 G: no poles

12) v 179 (41)
 US: don't know
 G: don't know, no answer (weiß nicht, keine Antwort)

13) v 242-246 (61)
 US: do
 G: participate

14) v 247 (62)
 US: agree with statement A/B
 G: Opinion A/B

15) v 248 (63)
 US: left/right

G: no poles

16) v 264-270 (73)

US: good/bad

G: I welcome it/I disapprove it (begrüsse ich/lehne ich ab)

17) v 272-284 (75)

US: 1 a great deal/2 quite a lot/3 not very much

G: 1 very much/2 quite much/3 few

18) v 290-295 (76)

US: approve/disapprove

G: for it/against it (dafür/dagegen)

19) v 296-319 (77)

US: something in between

G: absent

20) v 320 (78), v 321 (79)

US: [five answer field]

G: [six answer fields] (in Germany: The Federal Republic and DDR together)

21) v 334 (82)

US: none of the above

G: none of this

22) v 335-339 (83)

US: agree complete/neither agree nor disagree

G: agree very much/neither (stimme sehr zu/weder noch)

23) v 340-341 (84)

US: neither trust nor untrust

G: neither (weder noch)

24) v 351 (86), v 352 (87)

US: write in

G: 1-7

b) Same code, different meaning

1) v 115 (16)

US: 1 A great deal, 2 some, 3 little

G: 1 very proud, 2 considerable (pretty, fairly), 3 some (sehr stolz, ziemlich, etwas)

2) v 147 (31)

US: 3 once a month/4 christmas easter day/5 other specific holy days/7 never, practically never

G: 3 approximately once a month/4 only Christmas and Easter day/5 only on other specific holy days/7 never going to church

3. DIFFERENCE IN WORDING

Differences in the wording of the questions are often the problem of translation. Sometimes there are two or more possibilities for translation, the meaning is almost the same, but one is closer to the original, the other one is in a more fluent style. In the following there are cases with clear differences in meaning, but also some cases where I believe, that closer translations were possible. For the translation of the wording of the German questions I tried to be as close as possible to the German original.

1) v 4-9 (1)

US: Following part of the question is absent

G: I want to read out different sectors and ask, ..., if he is very important, rather important, not very important or not all all important [, ..., part: the same as in the US]

2) v 4 (1 a)

US: work

G: How is it with the work? How important is it for you?

3) v 5 (4 b)

US: family

G: And the family?

4) v 12-17 (4)

US: I am now going to read out some statements about the environment. For each one I read out. can you tell me whether...

G: Now I would like to read out something about the environment and please tell me for each item, whether...

5) v 12 (4 a)

US: prevent environmental pollution

G: Protection of the environment

6) v 14 (4 c)

US: it is the task of the government

G: it is the affair of the government

7) v 16 (4 e)

US: must accept

G: take in to the bargain

8) v 19-36 (6 a)

US: Please look carefully at the following list of voluntary organisations and activities and say... a) which, if any, do you belong to?

G: "If you look carefully at the following list of organisation and groups and please tell me, which do

you belong to?”

9) v 37-54 (6 b)

US: which, if any, are you currently doing unpaid work voluntary work for?

G: “And are you currently collaborating honorably, therefore without payment, with one or more of this groups?”

10) v 55-68 (7)

US: Thinking about your reasons for doing voluntary work, please use the following five-point scale to indicate how important each of the reasons below have been in your own case.

G: It is possible to have different reasons to do something honorably. To that I am going to read out various things. If you please tell me, how important each of the reasons is in your own case.

11) v 55 (7 a)

US: a sense of solidarity

G: solidarity

12) v 59 (7 e)

US: identifying

G: sympathy

13) v 84-93 (10)

US: We are interested ...During the past few weeks, did you ever feel...

G: We want to find out ... During the past few time, how did you do? For example:...

14) v 86 (10 c)

US:...on something you have done

G: ...what did you well

15) v 89 (10 f)

US: bored

G: “Did you felt terrible bored?”

16) v 90 (10 g)

US: On top of the world/feeling that life is wonderful

G: “Did it happen, that you felt like beeing in the seventh heaven, that life is really wonderful?”

17) v 91 (10 h)

US: depressed or very unhappy

G: “And that you felt very depressed, very unhappy?”

18) v 93 (10 k)

US: upset

G: consternated (verstört)

19) v 95 (12)

US: Please use the scale to indicate how much freedom of choice and control you feel you have over the way your life turns out.

G: How do you see it in your case, how much freedom do you have for the decision over the way your life turns out. 1 would mean, you feel that you have no choice, 10 would mean that you feel totally free concerning the decision for your further life.

20) v 96 (13)

US: following explanation is absent

G: 1 would mean “totally not satisfied”, 10 would mean “totally satisfied”

21) v 97 (14)

US: this country

G: federal republic

22) v 116 (17)

US: following explanation is absent

G: If you tell it according this scale: 1 would mean that you are totally not satisfied, 10 totally satisfied. Which level would you choose?

23) v 117 (18)

US: How free are you to make decision in your job? Please use this card to indicate how much decision-making freedom you feel you have.

G: “Every working person is free to decide something, in other cases he is dependent. It is the question now, how free one feels. Could you explain it according this scale again. 1 would mean that you have no decision-making freedom, 10 would mean, that you are totally free and independent in your professional decisions. In to which level of this scale would you classify yourself?”

24) v 118-124 (19)

US: to what you think

G: what you are thinking too

25) v 125 (20)

US: 50\$ a week; quicker, more efficient, more reliable

G: 300 DM a month; more efficient, more reliable and quicker

26) v 126 (21)

US: There is a lot of discussion; ...Which of the four statements come closest to your opinion?

G: There are different opinions; ...On this list four opinions are written, for which one are you.

27) v 128-131 (23)

US: Do you agree or disagree with the following statements?

G: Could you tell me to the following items, if you agree or disagree?

28) v 130 (23 c)

US: American people/immigrant

G: Germans/foreigners

29) v 132 (24)

US: your household

G: your household, your standard of living

30) v 135-141 (27)

US: I am going to read out a list of statements about the meaning of live.

G: On this list different opinions about the meaning of live and death are written.

31) v 142 (28)

US: Here are two statements

G: Here are two opinion written

32) v 147 (31)

US: attend religious service this days

G: go to the service in the church

33) v 148-150 (32)

US: Do you personally think it is important to hold a religious service for any of the following events? A) Birth B) Marriage C) Death

G: a) "Do you think a religious service is important for the birth of a child?" b) "And for a wedding?" c) "And how is it for a funeral?"

34) v 152-165 (34)

US: ... your church is giving, in your country, ...

G: ... the church is giving, in our country, ...

35) v 154 (34 c)

US: Following part is absent

G: Questions concerning the meaning of life

36) v 162 (35 G)

US: Euthanasia

G: Euthanasia (the killing of incurable sick persons)

37) v 164 (35 I)

US: ecology and environmental issues

G: environmental problems

38) v 166-174 (36)

US: Which, if any, of the following do you believe in?

G: "I want to read out various items and tell me, if you believe in or not?"

39) v 166 (36 a)

US: God

G: Do you believe in God?

40) v 167 (36 b)

US: Live after death

G: "In live after death?"

41) v 168 (36 c)

US: A soul

G: "In the soul?"

42) v 169 (36 d)

The devil

G: "Do you believe in the devil?"

43) v 170 (36 e)

US: Hell

G: "In the hell?"

44) v 171 (36 f)

US: Heaven

G: "In the heaven?"

45) v 172 (36 g)

US: Sin

G: "In sin?"

46) v 174 (36 i)

US: Re-incarnation

G: "Do you believe in reincarnation?"

47) v 177 (39)

US: find from religion

G: Take from belief

48) v 178 (40)

US: Do you take some moments of prayer, meditation or contemplation or something like that?

G: "Do you feel sometimes the necessity for moments of calmness, prayer, contemplation or something like that?"

49) v 180 (42)

US: Following explanation is absent

G: 1 would mean very unsatisfied and 10 totally satisfied

50) v 182 (44)

US: married before

G: already married before

51) v 183-189 (45)

US: following

G: anything from the list

52) v 190-196 (46)

US: And how about your parents? Do (did) you and your parents share any of the following?

G: In which parts do/did you and your parents share similar opinions?

53) v 197 (47)

US: chance to enjoy freedom

G: should develop themselves totally free

54) v 210 (48 m)

US: Taste and interest

G: interest

55) v 213 (50)

US: What do you think

G: What is

56) v 217 (54)

US: as single parent

G: with no established relationship to a man

57) v 218 (55 a)

US: establish a warm and secure relationship

G: give warmth and security

58) v 219 (55 b)

US: preschool child

G: small child

59) v 220 (55 c)

US: a job is alright

G: A job is good

60) v 221 (55 d)

US: working for pay

G: professional activity

61) v 224 (56)

US: With which of these two statements do you tend to agree?

G: "Here are two opinions written, which of these two you would tend to agree, the first or the second one?"

62) v 225 (57)

US: Which of the following statements best describes your views about parents' responsibilities to their children?

G: "Here are two opinions about the parents' responsibility to their children. Which of both is also your opinion?"

63) v 226-236 (58)

US: Following part of the question is absent

G: "A question to education. We put together some cards with different demands what children should learn for their further way of life.

64) v 237-240 (59)

US: Following part of the question is absent

G: "There is much discussion under which circumstances abortion is justified. I want to read out you some items, and tell me every time, ...

65) v 237 (59 a)

US: the mother's health

G: the mother's life

66) v 241 (60)

US: How interested would you say you are in politics?

G: "All in all, are you interested in politics? Would you say:"

67) v 247 (62)

US: Which of these two statements comes closest to your own opinion?

G: "Here are two opinions written. Which would you tend to agree, the first or the second one?"

68) v 248 (63)

US: How would you place your views on this scale, generally speaking?

G: How would you describe your own political point of view, how would you place yourself on this scale?"

69) v 250 (65 A)

US: incomes should be made more equal

G: Income differences should be reduced

70) v 251 (65 B)

US: Private ownership should be increased

G: privatisation

71) v 252 (65 C)

US: Individual/the state should take care

G: everyone/the state must take responsibility

72) v 255 (65 F)

US: work doesn't generally bring success

G: work does generally bring no success

73) v 259 (68)

US: If you had to choose, which of the things on this card would you say is most important?

G: "And what's about the goals on this list? Which do you think is most important?"

74) v 261 (70)

US: In your opinion which one of these is most im-

portant?

G: In your opinion, which one of this targets is the most important?

75) v 264 (73 A)

US: money and material possession

G: money

76) v 266 (73 C)

US: more (greater) emphasis on development

G: do more for develop

77) v 270 (73 G)

US: simple and more natural

G: more simple

78) v 273 (75 B)

US: armed forces

G: Federal Force (Bundeswehr)

79) v 283 (75 L)

US: TV Newscaster

G: the european community

80) v 292 (76 C)

US: disarmament movement

G: Peace movement

81) v 297 (77 b)

US: Avoiding fare on public transport

G: Pay no fare in public transport, "fare dogding"

82) v 301 (77 f)

US: taking the drugs

G: taking drugs like

83) v 319 (77 x)

US: under the influence of alcohol

G: already had drunken too much

84) v 322 (80)

US: American

G: German

85) v 336 (83 B)

US: government should be made much more open to the public

G: The government should listen much more to the wishes of the public

86) v 351 (86)

US: general election

G: election to the federal parliament

87) v 358 (Demographics 5)

US: has paid employment, if no paid employment

G: this part is absent

US: 130 hours a week or more/2 Less than 30 hours a week... 5 Housewife not otherwise employed

G: 1 full-time (30 hours a week or more), 2 part time (less than 30 hours a week) ...5 Housewife, houseman not otherwise employed

88) v 364 (after finishing the interview-interviewer note a))

US: 1 AB (upper, upper-middle class) 2 C 1 (middle non-manual workers) 3 C 2 (manual workers skilled semi-skilled) 4 DE (Manual workers-unskilled, unemployed)

G: 1 A, 2 B, 3 C, 4 D

89) v 370 (after finishing the interview-interviewer note d))

US: (regions of the USA)

G: (regions of West-Germany)

90) final question

US: So that my office can check my work in this interview, if it wants, may I have your name, adress and telephone number, please?

G: this is not required

4 QUESTIONS ABSENT IN ONE OR THE OTHER QUESTIONNAIRE

a) Differences in coding

1) v 115 (D 16 a/US 264)

US: 1 Working full-time, 2 working part time, 3 Not working

G: 6 Working, 7 not working

2) v 183-189 (45), v 190-196 (46)

US: all coded as "1", only "code 0" if not mentioned" (on the questionnaire in the codebook: code "2" indicates "not mentioned")

G: coded from 1 to 6, "don't know" as 9, nothing concerning "not mentioned"

3) v 211 (D 49 a)

US: Following rating absent

G: Yes A; No 0

4) v 326-334 (82)

US: All answers coded as "1"

G: Only "none of the above" is coded as "1"

b) Questions absent in one or the other question-

naire

1) v 285-289, v 342-350, v 369, v 371-373, v 375

Missing in the german questionnaire

2) D 85, D 87 (b), D 10-D 13

New in the german questionnaire

5. DIFFERENCES IN FORM ON THE GERMAN QUESTIONNAIRE

1) v 4-9 (1), v 12-17 (4), v 242-246 (61), v 250-256 (65), v 264-270 (73), v 272-284 (75), v 290-295 (76), v 323-325 (81)

US: No frame

G: Answers in a frame

2) v 19-44 (6), v 69-82 (8), v 97-98 (14), v 99-114 (15), v 183-189 (45), v 190-196 (46), v 224 (56), v 225 (57), v 247 (62), v 249 (64), v 257 (66), v 258 (67), v 259 (68), v 260 (69), v 261 (70), v 262 (71), v 320 (78), v 321 (79), v 326-334 (82)

US: (Statements on the questionnaires)

G: (Statements not on the questionnaire, only on special cards)

3) v 55-68

Underlined words in the source questionnaire question (US), not in the german question

4) v 69-82, v 226-236 (58), v 251 (65 B), v 363 (9)

Underlined words in the german questions, not in the source questionnaire

5) v 97, v 224 (56), v 226-236 (58), v 249 (64), v 257 (66), v 258 (67), v 259 (68), v 260 (69), v 261 (70), v 262 (71), v 320 (78), v 321 (79)

Underlined instructions to the interviewer only in the german questionnaire, "only one/five answer (s)"

6) v 97-98 (14), v 115 (16), v 128-131 (23), v 135-141 (27), v 148-150 (32), v 211-212 (49), v 218-223 (55), v 335-339 (83)

Dividing questions clearly in subparts in the german questionnaire

7) v 128-131 (23), v 135-141 (27), v 148-150 (32), v 216 (53), v 218-223 (55), v 259 (68), v 335-339 (83)

Change from vertical (US) to horizontal (G)

8) v 143-145 (29)

Different structure: three questions (US) combined to one question (G)

6 SPELLING MISTAKES

No findings

(Sven Holst)

<参考文献>

Inglehart, Ronald. 1977. *The Silent Revolution*, Princeton University Press. [三宅一郎ほか (訳) 『静かなる革命』、東洋経済新報社、1978年.]

Inglehart, Ronald. 1990. *Cultural Shift in Advanced Industrial Society*, Princeton University Press. [村山皓ほか (訳) 『カルチャーシフトと政治変動』、東洋経済新報社、1993年]

Inglehart, Ronald. 1993. *Modernization and Post-modernization: The Changing Relationship between Economic Development, Cultural Change and Political Change*, paper presented at conference on Changing Social and Political Values: A Global Perspective, Complutense University, Madrid, September 27-October 1. [真鍋一史 (訳) 「近代化とポスト近代化：経済発展と文化変化と政治変動の相互の関係の変化」、『関西学院大学社会学部紀要』、77、pp. 123-150、1997年.]

Inglehart, Ronald. 1997. *Modernization and Postmodernization*, Princeton University Press.

栗田真樹「価値観の測定：R. イングルハート (R.Inglehart) の価値観尺度の改良」『関西学院大学社会学部紀要』第78号、pp. 105-119、1997年
真鍋一史「情報の収集・整理・加工・保存・活用—データ・ライブラリー設立の意義—」、『情報通信学会誌』43、1994年.

真鍋一史・栗田真樹・劉志明・加藤敬子・李鍾煥「R. イングルハート (R.Inglehart) の『世界価値観調査 (World Values Survey) データ』の二次分析のための準備作業」、『関西学院大学社会学部紀要』第75号、pp. 67-82、1996年.

真鍋一史・栗田真樹・加藤敬子「R. イングルハート (R. Inglehart) の『世界価値観調査 (World Values Survey) データ』の二次分析のための準備作業 (2)」、『関西学院大学社会学部紀要』第76号、pp. 67-82、1997年.

真鍋一史・R.Inglrhart「Well-being の構造の国際比較」『関西学院大学社会学部紀要』第78号、pp. 187-203、1997年

中野裕樹也「社会的距離における次元性の研究」『関西学院大学社会学部紀要』第83号、pp. 213-225、1999年

〔 紙幅の関係で、フランスの調査票の検討結果に ついては、次号に掲載されることになりました。 〕

表1 「世界価値観調査」
ドイツ・フランス・アメリカ合衆国(カナダ)調査票
対応表

VAR.	VARIABLE LABELS (Canada)	Country Code 03 West Germany									Country Code 01 France										
		Question	1a	1b	2a	2b	3	4a	4b	5	6	Question	1a	1b	2a	2b	3	4a	4b	5	6
v1	Study number																				
v2	Country																				
v3	Interview number																				
v4	Work important	1. a)	3, 4	1	1		1, 2			1		Q. 116			1						
v5	Family important	1. b)	3, 4	1	1		1, 3			1		Q. 117			1						
v6	Friends important	1. c)	3, 4	1	1		1			1		Q. 118			1						
v7	Leisure important	1. d)	3, 4	1	1		1			1		Q. 119			1		1				
v8	Politics important	1. e)	3, 4	1	1		1			1		Q. 120			1						
v9	Religion important	1. f)	3, 4	1	1		1			1		Q. 121			1						
v10	Discuss politics	2					2					Q. 122						1			
v11	Persuade friends	3					1					Q. 123					2				
v12	Environment: Income	4. a)	2, 3, 4	2	1, 3		4, 5			1		Q. 124			2						
v13	Environment: Taxes	4. b)	2, 3, 4	2	1, 3		4			1		Q. 125			2						
v14	Environment: No Cost	4. c)	2, 3, 4	2	1, 3		4, 6			1		Q. 126			2						
v15	Environment: Anxious	4. d)	2, 3, 4	2	1, 3		4			1		Q. 127									
v16	Environment: Unemployment	4. e)	2, 3, 4	2	1, 3		4, 7			1		Q. 128									
v17	Environment: Not Urgent	4. f)	2, 3, 4	2	1, 3		4			1		Q. 129									
v18	Is R Happy	5	2			1						Q. 130	1								
v19	Social Welfare	6. a)A	3, 4, 5	3			8			2		Q. 131		2				3			
v20	Religious Organization	6. a)B	3, 5	3			8			2		Q. 132		2							
v21	Education/Cultural	6. a)C	3, 5	3			8			2		Q. 133		2				2			
v22	Trade Unions	6. a)D	3, 5	3			8			2		Q. 134		2							
v23	Political Parties	6. a)E	3, 5	3			8			2		Q. 135		2							
v24	Community Action	6. a)F	3, 5	3			8			2		Q. 136		2					5		
v25	Third World Development	6. a)G	3, 5	3			8			2		Q. 137		2							
v26	Environment	6. a)H	3, 5	3			8			2		Q. 138		2					6		
v27	Professional Assoc.	6. a)I	3, 5	3			8			2		Q. 139		2							
v28	Youth Work	6. a)J	3, 5	3			8			2		Q. 140		2						7	
v29	Sports/Recreation	6. a)K	3, 5	3			8			2		Q. 141		2							
v30	Womens Groups	6. a)L	3, 5	3			8			2		Q. 142		2					8		
v31	Peace Movement	6. a)M	3, 5	3			8			2		Q. 143		2							
v32	Animal Rights	6. a)N	3, 5	3			8			2		Q. 144		2							
v33	Health-Voluntary	6. a)O	3, 5	3			8			2		Q. 145		2							
v34	Other groups	6. a)P	3, 5	3			8			2		Q. 146		2							
v35	Activities-None	6. a)	3, 5	3			8			2		Q. 147		2							
v36	Activities-DK	6. a)	3, 5	3			8			2		Q. 148		2							
v37	Social Welfare	6. b)A	3, 5	4			9			2		Q. 149		2							
v38	Religious Organization	6. b)B	3, 5	4			9			2		Q. 150		2							
v39	Education/Cultural	6. b)C	3, 5	4			9			2		Q. 151		2							
v40	Trade Unions	6. b)D	3, 5	4			9			2		Q. 152		2							
v41	Political Parties	6. b)E	3, 5	4			9			2		Q. 153		2							
v42	Community Action	6. b)F	3, 5	4			9			2		Q. 154		2							
v43	Third World Development	6. b)G	3, 5	4			9			2		Q. 155		2							
v44	Environment	6. b)H	3, 5	4			9			2		Q. 156		2							
v45	Professional Assoc.	6. b)I					4			9		Q. 157		2							
v46	Youth Work	6. b)J					4			9		Q. 158		2							
v47	Sports/Recreation	6. b)K					4			9		Q. 159		2							
v48	Womens Groups	6. b)L					4			9		Q. 160		2							
v49	Peace Movement	6. b)M					4			9		Q. 161		2							
v50	Animal Rights	6. b)N					4			9		Q. 162		2							
v51	Health-Voluntary	6. b)O					4			9		Q. 163		2							
v52	Other groups	6. b)P					4			9		Q. 164		2							
v53	Activities-None	6. b)					4			9		Q. 165		2							
v54	Activities-DK	6. b)					4			9		Q. 166		2							
v55	Solidarity	7. a)	3, 4	4	1		10, 11			3		Q. 167				3					
v56	Compassion	7. b)	3, 4	4	1		10			3		Q. 168				3					
v57	Opportunity to Give	7. c)	3, 4		1		10			3		Q. 169				3			9		
v58	Sense of Duty	7. d)	3, 4		1		10			3		Q. 170				3					
v59	Identify Suffering	7. e)	3, 4		1		10, 12			3		Q. 171				3					
v60	Worthwhile to do	7. f)	3, 4		1		10			3		Q. 172				3					
v61	Personal Satisfaction	7. g)	3, 4		1		10			3		Q. 173				3					
v62	Religious Beliefs	7. h)	3, 4		1		10			3		Q. 174				3					
v63	Give Hope/Dignity	7. i)	3, 4		1		10			3		Q. 175				3					
v64	Community Contribution	7. j)	3, 4		1		10			3		Q. 176				3			10		
v65	Social/Political Change	7. k)	3, 4		1		10			3		Q. 177				3			11		
v66	Social Reasons	7. l)	3, 4		1		10			3		Q. 178				3			12		
v67	Useful Experience	7. m)	3, 4		1		10			3		Q. 179				3			13		
v68	Could not Refuse	7. n)	3, 4		1		10			3		Q. 180				3			14		
v69	Neighbors: Criminals	8. A	3, 4, 5	5	4					2, 4		Q. 216		2							
v70	Neighbors: Other Race	8. B	3, 4, 5	5	4					2, 4		Q. 217		2							
v71	Neighbors: Left Wing	8. C	3, 4, 5	5	4					2, 4		Q. 218		2							
v72	Neighbors: Drinkers	8. D	3, 4, 5	5	4					2, 4		Q. 219		2							
v73	Neighbors: Right Wing	8. E	3, 4, 5	5	4					2, 4		Q. 220		2							
v74	Neighbors: LG Family	8. F	3, 4, 5	5	4					2, 4		Q. 221		2							
v75	Neighbors: Unstable	8. G	3, 4, 5	5	4					2, 4		Q. 222		2							

Toward a Secondary Analysis of the World Values Survey Data (3)

ABSTRACT

The purpose of this study is to evaluate the data from the World Values Survey which has recently attracted global attention. The 1990 version of this survey was conducted in 43 nations under the supervision of Ronald Inglehart at the University of Michigan. That university has established an international reputation for its social science data collection, management, and analysis. This paper will first explain the contributions of the University of Michigan through its Center for Political Studies and Inter-University Consortium for Political and Social Research. Because one of the most critical aspects of any empirical study is to the ability to confirm the results through replication, the second part of this paper will evaluate the German and French data used in Inglehart's World Values Survey.

Key words: Secondary Analysis, Gaman data, French data